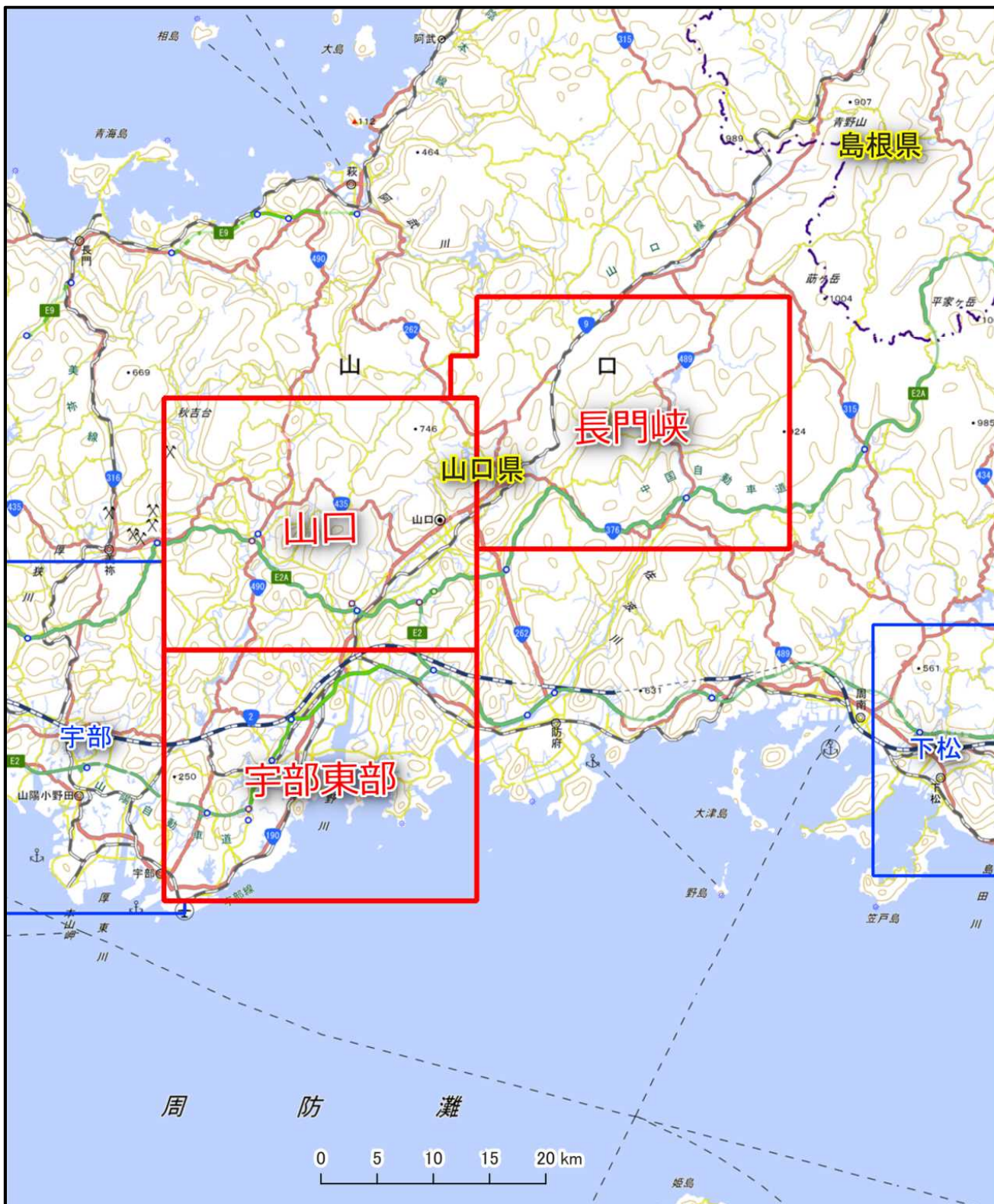


位置図

- 1:25,000 活断層図 大原湖断層及び地福断層とその周辺 「長門峡」
 1:25,000 活断層図 大原湖断層、小郡断層及び地福断層とその周辺 「山口」
 1:25,000 活断層図 小郡断層とその周辺 「宇部東部」

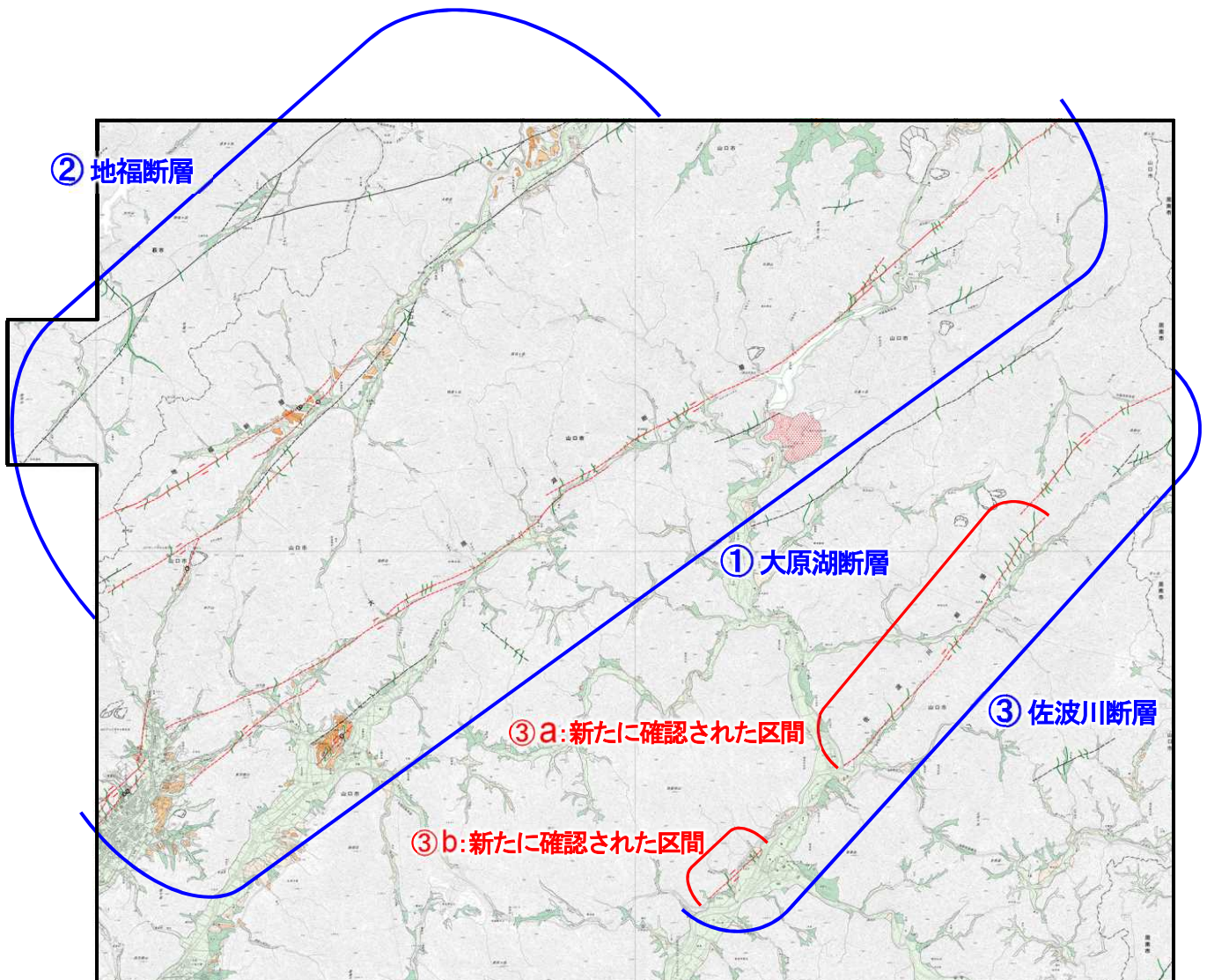


公開図郭

整備済図郭

概要

1. 1:25,000 活断層図 「長門峡」



2. 今回の調査で得られたこと

「長門峡」の図には、大原湖断層約 25km、地福断層約 15km、佐波川断層約 15km と、その他の推定活断層を表示しています。

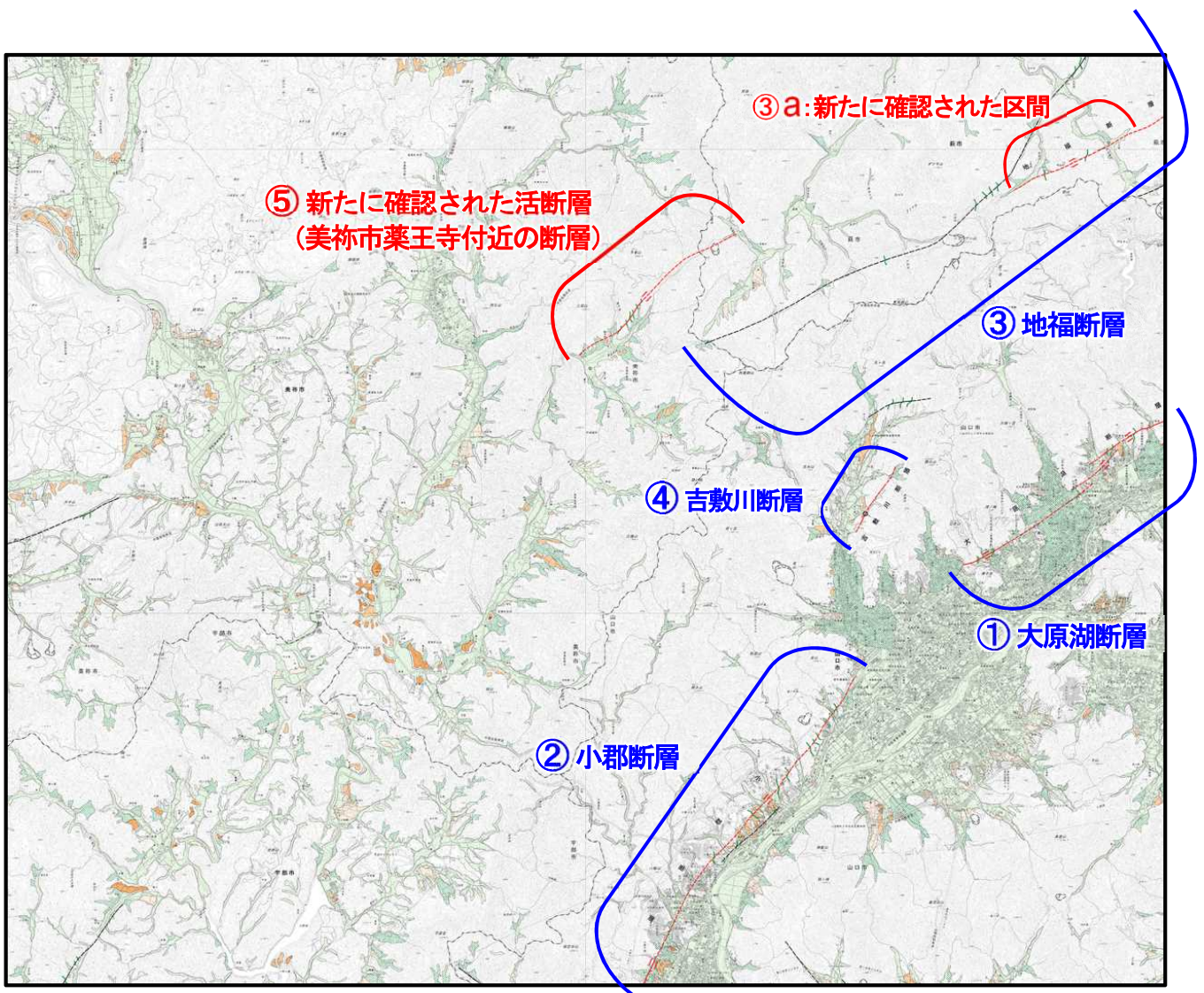
表示した活断層は、以下のとおりです。

番号	断層名	断層について
①	おおほらこ 大原湖断層	<p>山口市と周南市の境界に位置する飯ヶ岳^{いいがたけ}の西（図郭北端）から同市青葉台^{あおばだい}の南西（図郭西端）まで、北東—南西方向に延びる、図内の長さ約 25km の活断層で、西側に隣接する「山口」の図の山口市萩町^{おぎちよう}まで続いています。</p> <p>右横ずれ*変位を主体とし、一部区間では縦ずれ*変位を伴っており、主断層に並行及び斜交する数条の活断層と推定活断層を含んでいます。</p>
②	じふく 地福断層	<p>山口市榎谷^{えのきだに}の東（図郭北端）から山口市と萩市の境界に位置する龍門岳^{りゅうもんだけ}の西付近（図郭西端）まで、北東—南西方向に延びる、図内の長さ約 15km の活断層（推定活断層を含む）と、同市榎谷（図郭北端）から萩市の日南瀬峠^{ひなたせだお}（図郭西端）まで、北東—南西方向に延びる、図内の長さ約 14km の推定活断層から構成され、「山口」の図に続いています。</p> <p>右横ずれ*変位を伴う活断層で、山口市^{なかごう}中郷では南東側隆起（北西側落ち）の縦ずれ*変位を伴っています。</p>
③	さばがわ 佐波川断層	<p>山口市^{たかはちやま}の高鉢山の北東から同市下庄方^{しもしょうがた}まで、北東—南西方向に延びる、図内の長さ約 15km の右横ずれ*変位を主体とする 3 条からなる活断層です。</p> <p><u>今回の調査で新たに 2 区間（図中③ a、③ b）の活断層が確認されました。</u></p> <p><u>③ a 区間は、山口市^{はだか}羽高から同市^{かみいち}上市まで、北東—南西方向に延びる、長さ約 7km の右横ずれ*変位を主体とする活断層です。</u></p> <p><u>③ b 区間は、山口市^{あげさ}上佐から同市下庄方まで、北東—南西方向に延びる、長さ約 2km の右横ずれ*変位を主体とする活断層です。</u></p>

*印は、参考資料 2 の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 1:25,000 活断層図 「山口」



2. 今回の調査で得られたこと

「山口」の図には、やまぐち大原湖断層約5km、おおほらこ小郡断層約7km、おごおり地福断層約10km、じふく吉敷川断層約2km、新たに確認された活断層 (みね やくおうじ美祢市薬王寺付近の断層) 約4kmと、その他の推定活断層を表示しています。

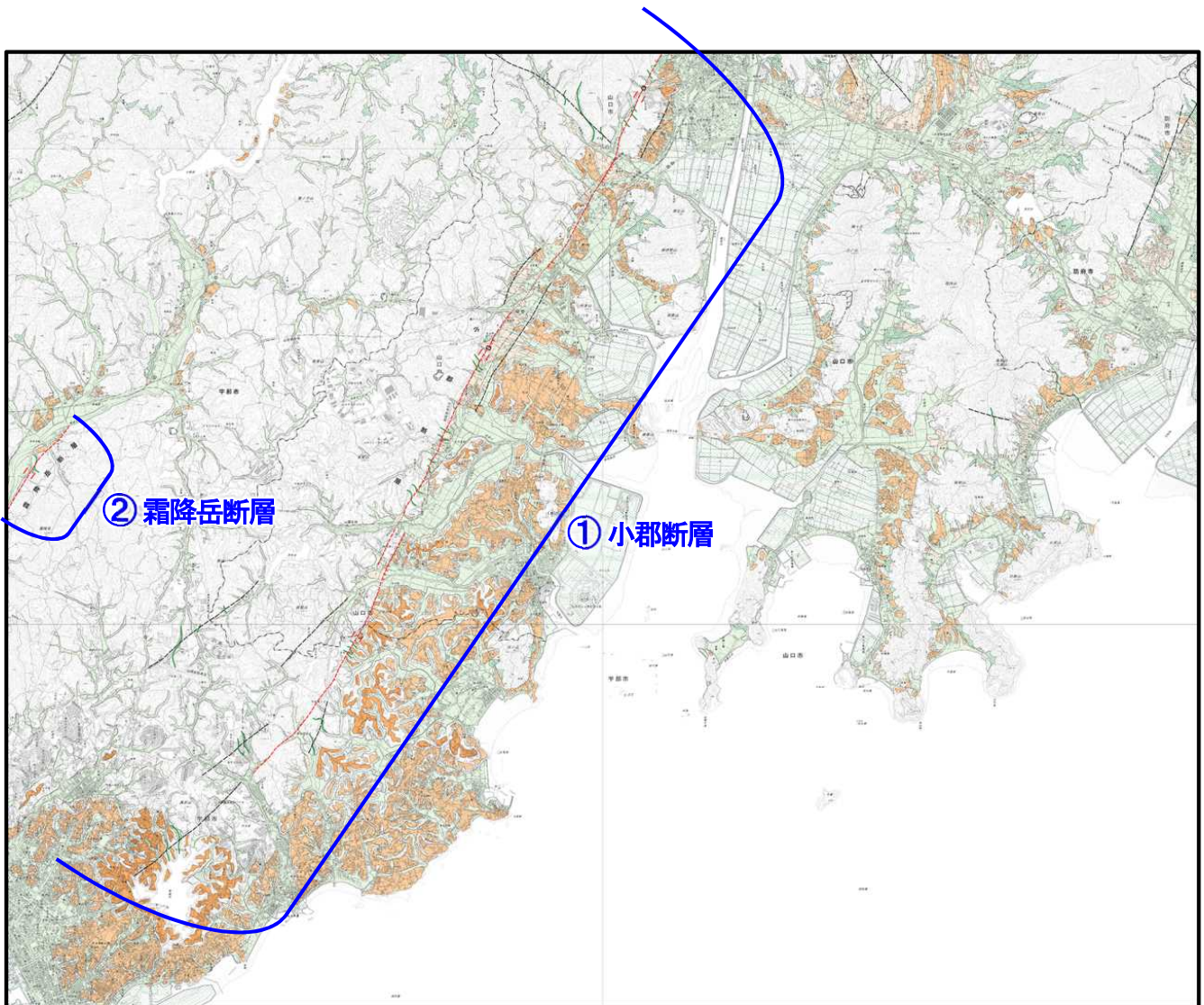
表示した活断層は、以下のとおりです。

番号	断層名	断層について
①	おおはらこ 大原湖断層	<p>山口市上^{かみさくらばたけ}桜畠（図郭東端）から同市萩^{おぎちよう}町まで、北東—南西方向に延びる、図内の長さ約5kmの活断層です。</p> <p>東側に隣接する「長門峡」の図から連続する活断層は、山口市^{みどりがおか}緑ヶ丘周辺及び同市^{てんげ}天花で南側に位置を変えて延びています。右横ずれ*変位を主体とし、山口市上桜畠では北側隆起（南側落ち）の縦ずれ*変位がみられます。</p>
②	おごおり 小郡断層	<p>山口市^{まぎまき}木崎から同市^{やまてしも}山手下（図郭南端）まで、北東—南西方向に延びる、図内の長さ約7kmの活断層で、南側に隣接する「宇部東部」の図の宇部市^{ときわだい}常盤台まで続いています。</p> <p>右横ずれ*変位を主体とし、一部に北西側隆起（南東側落ち）の縦ずれ*変位がみられます。山口市^{にほづ}仁保津付近では、推定活断層が並行しています。</p>
③	じふく 地福断層	<p>「長門峡」の図から連続し、本図においては萩市^{こぎわら}小木原（図郭東端）から同市^{かみながせ}上長瀬まで、東北東—西南西に延びる、右横ずれ*変位を主体とする図内の長さ約3kmの活断層と、萩市^{ひなたげ}日南瀬（図郭北端）から同市と美祢市の境界に位置する^{みょうじきだお}明敷峠まで、北東—南西に延びる、図内の長さ約9kmの推定活断層から構成され、全体としては図内の長さ約10kmとなっています。</p> <p><u>今回の調査で、萩市小木原付近から同市上長瀬までの約3kmの区間（図中③a）に新たに活断層が確認されました。この区間では、右横ずれ*変位が認められます。</u></p>
④	よしきがわ 吉敷川断層	<p>山口市^{なかお}中尾付近に位置し、北北東—南南西方向に延びる、長さ約2kmの活断層です。</p>
⑤	新たに確認された 活断層 (^{みね} 美祢市 ^{やくおうじ} 薬王寺付 近の断層)	<p><u>今回の調査で新たに確認された活断層です。美祢市^{やくおうじ}薬王寺付近に位置し、北東—南西方向に延びる、長さ約4kmの右横ずれ*変位を主体とする活断層です。</u></p>

*印は、参考資料2の「7.用語の説明」を参照

概要

1. 1:25,000 活断層図 「宇部東部」



2. 今回の調査で得られたこと

「^{うべとうぶ}宇部東部」の図には、^{おごおり}小郡断層約19km、^{しもふりだけ}霜降岳断層約2kmと、その他の推定活断層を表示しています。
表示した活断層は、以下のとおりです。

番号	断層名	断層について
①	おごおり 小郡断層	<p>北側に隣接する「山口」の図の山口市木崎から連続し、本図においては山口市^や矢^{あし}足（図郭北端）から宇部市常盤台まで、北東－南西方向に延びる、図内の長さ約19kmの活断層です。</p> <p>右横ずれ[*]を主体として、一部縦ずれ[*]変位を伴っています。また主断層に並行する数条の推定活断層を含んでいます。</p>
②	しもふりだけ 霜降岳断層	<p>宇部市^{じせいじ}持世寺付近に位置し、北東－南西方向に延びる、図内の長さ約2kmの右横ずれ[*]変位を主体とする活断層です。</p>

*印は、参考資料2の「7.用語の説明」を参照